

選擇疑問答について

小西存祐

記主禪師の選擇集に關して物されたものが五部ある。曰く「選擇傳弘決疑鈔」五卷、曰く「同裏書」一卷、曰く「選擇集疑問答」一卷、曰く「選擇集略鈔」一卷、曰く「徹選擇鈔」二卷がそれである。今この記念號で、自分に與へられた問題は、その中第三の疑問答一卷を解説するといふことである。

二

この書は、その奥書にも見ゆる通り、建治三年九月禪師七十九歳の時の撰述で、即ち禪師の選擇集に關する著作中、最後のそれに屬するものである。建治三年は、禪師の示寂に先だつ十一年で、決疑鈔の撰述に後るゝ二十三年、徹選擇鈔のそれに後るゝ十八年、選擇集略鈔に後るゝ九年目である。

別傳を看るゝ、恰かも是の前年、禪師は慈心(本)禮阿(條)等の在京の弟子らの請を容れて、再度の上洛を企て、嵯峨大覺寺の山内に在つて、爾來凡そ十年あまりも滞在をされてゐたことになつてゐる。

案するに、大覺寺の山内といふは、恐らく以前聖覺法印の妹、淨意尼の居住してゐた傳ふる所で、同尼は夙く既に故人となつてゐたが、先之(寶治二年師五十歲)禪師が鎮西より入洛の砌、師をその自坊に請し、選擇集の講筵を開いたといふことが、同じく復た別傳の中に見へてゐる。その時淨意尼は禪師に對し、永く洛中に留錫されんことを懇望したけれど、師はたゞ再會を約して關東の方へ下向をされてしまつた。

淨意尼の傳記は、自分も若干檢べてはみたが、詳しいことは能く解らない。それで同尼の没後、その住房がさう爲つてゐたか明らかでないが、兎も角も前述の様な關係から、今度も復その縁かりの場所が選ばれたものゝ想像されるので今の疑問答の撰述も、恐らく復た同所に於てされたものゝ觀て不可ないと思ふ。

三

撰述の由來については、内題の下、撰號のところに――

毘沙門堂阿彌問。

然阿上人良忠答。

こ在る。無論これは後人の置いたものであることは、一見して解かるが、謂ふところの「毘沙門堂阿彌」は、全體いかなる人物であつたのか、甚だ明瞭を缺いてゐる。第一その名前の讀方からして、何だか今一つはつきりしてゐない或は見方によれば、「毘沙門堂の堂阿彌」も見られないこともないが、然し是は、やつぱり毘沙門堂の「阿彌」を「阿彌陀佛」を稱する者が見た方が穩當な様である。

毘沙門堂は、延曆年中傳教大師の創立にかゝり、徳川の初、洛北出雲路から今の地(山科)に移轉された天台宗の門跡寺で、其のかみ智海、明禪等の名匠が現れて、天台檀那流の一派を成したといふことは、人の能く知るところである。殊に明禪法印が、初めは痛く宗祖の化導をそねみながら、後には「述懷鈔」までも物して、宗祖の選擇集を讃述せられたといふことは、現に「勅修御傳」(第四十卷)なごにも見へてゐる。それで今の堂阿彌も、恐らく復た毘沙門堂にゐた、若くはその流を汲んだ天台の學徒で、傍ら宗祖の選擇集に意を寄せてゐた者であらふに想像される。

四

内容は、選擇集の各章にをける堂阿の疑問に對し、一々それを禪師が決擇せられたもので、都べて二十五問答ある。

もつこも十六章の内、第五の念佛利益、第六の特留念佛、第十五の諸佛護念、第十六の身子付屬の四章については、別に疑問も無かつたさみへて、「已上諸段無問故不及答也」といつて在る。

今その堂阿の疑問なるものを通觀するに、別には是さいつて特別なものが在つたさみふ譯ではないが、流石にその疑難の仕ぶりなごから觀るに、相當な學者であつたさみは察せられる。

疑問の中心は、大體に於て出雲路の住心や覺明房長西なごの諸行本願義の見地から來てゐる。即ち彌陀の本願を念佛の一行に局り、又その念佛を念聲は一三釋して、雜行雜修を排斥するさみふこを難するさみふ點に在る。

是は併かし、身を聖道門に置いて傍ら淨土門を修學せんさみする聖淨兼學の人の通念さみ稱すべきもので、爾ふした態度から爾ふした疑難の起つてくるさみふこは敢て異さみするに足りない。但しそれが、今の堂阿にあつては、往々他の學者に於て見る様に、最初から選擇集を難せんさみする意味から來てゐるのでないさみふこは、豫め注意をして置く必要がある。

五

要するに本書は、ほんたふに自分が選擇集を理解せんさみする堂阿の求道的精神がその基調となつてゐるので、多分又それは、明禪法印の述懐鈔なごから、その影響を受けてゐるものであらふさみ察せられる。

既に本書は、個人のをふした實際上の要求を満たすこが主眼であつたのであるから、若し堂阿が、先だつて「決疑鈔」を讀んでゐたら、恐らく本書の如きは撰述はされなかつたさみ思ふ。従つて本書は上述の様に決疑鈔の後に撰述せられたこは事實であるが、宗義上決疑鈔の上に別に加ふる所があるものではない。唯われは是によつて、禪師の晩年その在京中に於て、そふした問答の事實のあつたさみ云ふこ並に其の最後の問答に見ゆる如く、當時なほ選擇集を、弟子の所造だなさみいひ觸らす者が在つたさみいふこを知ることが出來るのである。已上。